さくらおろち通信

島根県雲南市と奥出雲町にまたがる、尾原ダム・さくらおろち湖周辺地域の自然とそこに暮らす人の営みを元気なものにしていくNPOの情報発信紙です。

第46号

奥出雲町布勢でさくらおろち湖シンポ2015開催

2月8日(日)、奥出雲町の布勢コミュニティセンターで開催した「さくらおろち湖シンポジウム2015」。地域内外から約40人が集まりました。

島根大学教育学部作野広和教授の講演では、昨今の「市町村消滅論」に対して多数の問題点があげられました。基調が古いパラダイムである、誇張した表現と自滅論への誘導がある、人口の多角的議論が欠如している、大都市の問題が欠落……。乗っかってはいけない流れだということですね。そこをふまえたうえで、この地域の現状分析とこれからの課題を明示いただきました。

さくらおろちでは、講演とパネルディスカッションをもとに、NPOが先ずやれること（地域情報の集約提供、さらなる資源の掘り起こしなど）を皆様とともに進める意義を改めて強く感じる会となりました。今後ともご支援ご協力のほど宜しくお願い致します。

▲パネラーは写真右から、山本博子さん、宇田川光好さん、高野明美さん、三成由美さん。そしてコメンテイターに作野教授。コーディネイターはさくらおろち理事長の土山

▲農山村は守りと攻めがあってこそ笑顔が溢れる

竹はなぜ放置されるのか ～一連の活動を展開！

しまね自然と環境財団の助成を受けた今年度の取り組みをほぼ終えました。1月には「竹に驚く日」と題した松江での2本の記録映画上映、竹皮編みのワークショップ、講演会、展示。また1月～2月にかけて、2回の竹林整備研修（奥出雲タケヤマ開拓）と、1回のセミナー（竹の焼畑と山林資源の可能性）を開催しました。

詳しい報告は3月に。ここでは「竹に驚く日」へ参加された方の感想を一つご紹介します。

「竹皮の利用がこんなにもあることを知り驚きました。山の境界もわからない世代が大半となってきました。山には先祖から受け継いだ資源が眠っていますが、有効に利用することを知りません。今日の映画（タケヤネの里）を観て、足元にある資源を有効に利用するためにはどうしたらいいのか、又、そのためにはどう整備していけばいいのか、今年から考えながら学びながら行動に移していきたいと思いました」（松江市・60代・男性）

◀「竹の焼畑」上映会の模様

▲前島美江さんによる竹皮編みのワークショップは大好評

▲竹林整備研修には女性も多数参加

発行所▷ＮＰＯ法人さくらおろち事務局 〒699-1342 雲南市木次町平田 779-1 ☎ 0854・48・0729

【豆コラム】「しまねの郷づくりカルテ」はできたばかりで空欄も多かったのですが、人口データがそろってきているのをシンポジウムで知りました。住んでいる地域（あるいは移住希望先）を知るよい材料です。

3～4月の行事案内

▼**3月15日（日）・「ダム湖の郷」ウォーキング大会**…地域自主組織「ダム湖の郷」主催

▼**3月28日（土）～29日（日）・さくらおろち湖レガッタ**…島根県ボート協会主催・さくらおろち湖ボート競技コース

▼**4月11日（土）～12日（日）・中国高校ボート選手権島根県予選**…島根県高体連ボート競技部主催・さくらおろち湖ボート競技コース

▼**4月12日（日）・島根県自転車競技選手権大会**…島根県自転車競技連盟主催・さくらおろち湖自転車競技コース

4月19日（日）第3回さくらおろち湖ウォーク

今年で第3回となりました春のさくらおろち湖を歩くウォーキング大会です。コースは3つ。約21キロ、約13キロ、約6キロ。申込みは3月20日まで。午前9時30分スタートです。くわしくは要綱をご覧ください（道の駅おろちの里はじめ各所に置いてあります）。▼場所・さくらおろち湖ボート競技施設前▼参加費……一般1500円、18歳未満1000円、小学生以下無料です。▼お問合せはさくらおろち湖ウォーク実行委員会事務局まで（sakuraorochiwalk@gmail.com）。

4月19日（日）第4回さくらおろち湖お花見レガッタ

さくらおろち湖ウォークと同日開催です。雲南男子・雲南女子・一般男子・一般女子・シニア・ジュニアにわかれての市民レガッタです。主催は斐伊川さくらボート協会。申込みは3月13日まで。くわしくは開催要項をご覧ください。雲南市公式ウェブサイトからもダウンロードできます。

4月26日（日）第3回さくらおろち湖トレイルラン

風景、路面、自然の変化に富んだ里山地帯を走ります。24キロのロングコースと13キロのショートコースの2種類。申込みは3月10日まで。主催はさくらおろち湖トレイルランニングレース実行委員会です。くわしくは要綱をご覧ください。

会員募集

私たち「NPO法人さくらおろち」は、尾原ダム周辺の自然環境や伝統文化や施設といった地域資源を活かし、様々なイベントや地域活動に取り組んでいます。そして、斐伊川水系の上流域を拠点とする団体として、流域圏における交流と絆づくりを進めているところです。当法人の活動にご賛同いただき活動を支援していただける会員を募集しています。

▲竹皮編みワークショップの模様より

正会員▽当法人の総会において議決権を持ちます／入会金一〇〇〇円・年会費二〇〇〇円。賛助会員▽活動を財政面から支えてくださる会員です／入会金一〇〇〇円・年会費一〇〇〇円。

▼NPO法人さくらおろち事務局までお問い合わせください▼〒699－1342　雲南市木次町平田779－1・☎0854－48－0729

「星降る里山暮らし体験」催行中止につきまして

NPO法人さくらおろち主催で2/20～22の2泊3日で計画していました標題の体験ですが、応募申込みが催行10日前の段階で4名にとどまり、やむなく中止と至りました。この事業はふるさとしまね定住財団の「しまね暮らし体験プログラム」事業の助成を受けて準備を進めてきたものです。

参加を予定していた方々へは、ご自身で旅行手配の上いらっしゃる場合の情報提供、ご案内、ご相談をもって対応させていただきます。

また、反省をふまえて今後とも移住希望者の掘り起こしと体制の整備に邁進してまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

文：NPO法人さくらおろち 面代真樹